

週刊

# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子      中村たけとし      小林えみ子  
☎(752)0453      ☎(409)5475      ☎(482)5451

発行  
日本共産党  
八千代市議会議員団  
八千代市大和田新田  
312-5  
TEL (483) 1151

## 市民不在の議会基本条例制定の研究

八千代市ではH23年3月議会で「議会基本条例制定を求める」市民からの陳情が採択されたことを受け、議会内に議会基本条例研究会が立ち上がりました。

H23年6月、各会派から選出された議員により全15回の会議を重ねてきましたが、この会議は「研究会の段階だから」ということで、市民の傍聴を認めていません。

栗山町や佐倉市、流山市などの先進市の条例の内容について研究を行ったうえで、全20条の八千代市議会基本条例案を作成しているが、流山市では制定まで2年かけて市民も参加して行われていました。



今後、代表者会議で制定するかどうかを議論することになってはいますが、ここでもまた、市民の参加は許されていません。

## 骨抜き条例では意味がない

市民にとってどんな議会が「開かれた議会」と言えるのでしょうか。議会活動の見える化を推進するという意味では市民が参加せず、議員だけで制定してしまっただけの議会基本条例でしょうか。

制定の段階から市民参加型で実施すべきと日本共産党は主張してきました。しかし、議員だけで作った条例案には、常任委員会の単独開催は明記されず、委員会のインターネット中継も行わない他、議会報告会の開催、議会モニターや調査機関、議会サポーター等も含まれない、中身のない骨抜き条例案となっています。

## 「開かれた議会」と逆行の市議会

八千代市ではこれまで、議会で取り扱う市民要望について、紹介議員の必要な請願と必要でない陳情は同等の扱いでありました。しかし、6月議会から陳情は本会議で審議されることなく、常任委員会止まりとなります。

現在、31名いる議員の内、7~8名の常任委員会で採決されると、意見を述べることや審議に加わることができなくなる議員が出てきてしまう。また、インターネット中継の動画もないので、傍聴に来た人と後日議事録を見ない限り、議会の様子がわからないこととなります。市民に開かれた議会と逆行します。

また、先に決定した議員定数の4名の削減は、市民の声を届ける議員の削減と直結し、市民の民意を削ることにつながります。削減に熱心な議員ほど、借金増大のハコモノ計画を促進、議会での質問ゼロの議員が含まれていることは偶然ではありません。

日本共産党は、市民に開かれた議会・市政を目指し、中身のない骨抜き条例の議会基本条例には反対し、市民参加型の議会基本条例制定に向け奮闘します。